



武田光由議員
(公明党)



GIGAスクール利活用状況

問 GIGAスクールの利活用状況はどのようになってきているのか。また利活用に当たった課題と対策について伺う。

答 「教育長」 本年6月に行った状況調査の結果、すべての小中学校の各学年で週3回以上活用、ほぼ毎日活用している小学校は2割程であった。課題としては、ICT機器の活用頻度を上げ、効果的に学習に生かしていくことである。その対策として、端末に関する知識や技能の向上を図るための研修会等を開催し、教員の力量向上に努めている。

奨学金返還支援制度の実施を

問 奨学金返済に苦しんでいる若者の負担を軽減するとともに、地方創生の観点から若者の地方定着を促す奨学金返還支援制度の実施が必要と考えるがいかがか。

答 「市長」 この制度は、若者が本市へ移住・定住等を考えるきっかけとなり得るものと考えている。今後も他自治体におけるこれらの取組等による若者の地方定着の促進効果について

注視するとともに、効果的な移住・定住策等について調査研究していきたい。

音声コードの利用促進を

問 視覚障害者のための音声コード（紙媒体に記載された印刷情報をデジタル情報に変える2次元バーコード）の利用促進について伺う。

答 「市長」 利用状況としては、令和4年3月に作成した第3次匠瑤市障害者計画の冊子に音声コードを添付し、スマートフォンを使用して読み上げることができるようになっている。今後は視覚障害者が行政情報の取得及び利用を円滑に行えるよう、音声コードの普及に努めていきたい。

介護ボランティア制度の創設を

問 ボランティア活動を通じて地域で交流し、支え合いの関係構築を促す介護ボランティア制度を創設してはどうか。

答 「市長」 高齢者のニーズや地域におけるサービスの把握、関係団体とのネットワーク構築を行うことにより、高齢者を支援する地域の体制づくりを推進しているところである。今後地域包括ケアシステムの充実を図るため、介護ボランティアポイント制度の創設を含め、ボランティアの育成及び支援について検討していきたい。



伊東一成議員
(匠風)



高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定

問 第9期計画の介護保険料の見込みを伺う。

答 「市長」 高齢化率は、令和7年には38%となる見込みである。団塊の世代が要介護の認定率が高まる後期高齢者になることや、昨今の物価高騰と他業種での賃上げを背景とした介護報酬の引き上げが見込まれることから、保険料の引き上げが必要になるものと思われる。

農林水産課の業務

問 4月に設置された農業戦略室では新たにどのような取組を行っているのか。

答 「市長」 本市における効率的かつ効果的な農業経営の育成を図るため、匠瑤市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の見直しに着手したところである。

小規模農家への支援策

問 燃料や原材料費の高騰により経営困難になっている小規模農家に対してどのような支援をしていくのか。

答 「市長」 現在の物価高騰が続くことで、多くの市内事業者の経営に影響を及ぼすことは大変危惧している。

その一方で、支援策の実施には財源の確保が必要であることから、国の交付金や県の支援制度等の情報収集に努め、活用可能な支援策等について速やかに周知していきたい。

フィルム・コミッション等の設置

問 市の認知度やイメージの向上を図るため、ロケ地の誘致活動を行うフィルム・コミッション等の設置をはいかがでしょうか。

答 「市長」 本市には多くの撮影適地があると考えられるので、今後これらについての情報収集及びPRを積極的に行いながら、フィルム・コミッションの設置について他市の事例を参考に調査研究していきたい。

生成AIの導入

問 仕事の効率が上がるとされている生成AIの導入を検討してはどうか。

答 「市長」 生成AIの業務利用については、個人情報などの情報漏えいや著作権侵害など、様々な問題が指摘されている。今後も引き続き業務を効率的に行えるよう調査研究していきたい。

匠瑤市民病院の健診受け入れ

問 病院の収入増及び市民の利便性向上のため、国保特定健診及び後期高齢者健診を受診できるようにしてはどうか。

答 「市民病院事務局長」 事業実施主体の健康管理課とも相談しながら、実施について検討していきたい。